

# interfm

The273th Programming Deliberation Committee

## 第 273 回番組審議会 議事録

開催日 2023 年 11 月 21 日 (火)

出席者：湯川れい子委員長、安藤美冬委員、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員

欠席者：亀渕昭信委員 (審議レポート提出)

1、

議題 (審議番組) : 鈴木エイト MIDNIGHT TRACKING

放送日時 : 2023年10月28日 (土) 27:00 - 27:20

DJ : 鈴木エイト

### 会社からの説明

### 委員からの意見・感想

#### 審議委員A

20 分とは思えないくらい濃い内容だった。太田光さんのチャーミングな一面を伺い知ることができた。番組で紹介されていた書籍は面白そうに感じたので注文した。鈴木エイトさんというと、ちょっと強面のジャーナリストというイメージがあったが、バンド活動をしていた過去や音楽に造詣が深いことが分かり興味深かった。鈴木エイトさんの話術をもってすれば、よりゲストの魅力を引き出してくれそう。他の放送回や特番などにも期待したい。

#### 審議委員B

とても面白く聴くことができた。鈴木エイトさんの声がよく、ラジオ向きだと感じた。この番組は 20 分だが、より長尺の番組もやってみてもいいかもしれない。書籍をもとにトークを展開したことでいつもとは違う太田光さんが垣間見ることができた。今後のゲストにも期待せずにはられない。20 分は短い、中身がたくさんあったので聴いていて短く感じなかった。番組は放送するために短く編集されているが、編集前の内容がアーカイブされている。映画で未公開シーンを公開すると格好悪くなることもある。番組や鈴木エイトさんの格好良さを追求するならアーカイブを残さない、という考え方もあるかもしれない。テレビでは求められる役割の範囲内で演じる部分がある。それ以外の表情や一面を引き出すところに価値を感じる。今後も期待したい。

#### 審議委員C

楽しく面白かった。社会派のイメージの鈴木エイトさんだが、実は若かりし頃はパンクロッカーだった。そういった組み合わせやギャップはメディアのコンテンツとしては面白く、興味深い。

書籍をもとにトークが進むので、短い時間であっても内容がまとまり、無駄のない純度の高い内容となる。編成としては20分という短い番組で深夜に放送ということで、トライアルのような意味合いがあるのでしょうか、もったいないとも感じた。

#### 審議委員D

今回、「鈴木エイト MIDNIGHT TRACKING」を試聴し、レポートを書かせていただきました。初放送、ゲストは爆笑問題の太田光さん。一回目ということでディレクターも、良く知った方をゲストに迎えたのでしょうか。それなりに楽しく聴くことが出来ました。

しかし、前にもお話をした記憶がありますが、スタートしたばかりの番組を番審に出すのは、やはり冒険ではないでしょうか。出演者もディレクターも、まだ手探り状態だと思います。もう少し、ある程度、番組の形が出来てからの方が良いのではないのでしょうか。

一年後ぐらいにまたこの番組を聴くことが出来れば、どんな具合に番組が変化したのかが判り、これはこれで良いのかも知れません。テレビとは違って、エイトさんがホストになり、太田さんをゲストに迎えるわけですが、エイトさん、けっこうだけたお喋りで、予想以上に良かったです。番組に慣れてきたら、もっともっと良くなるのでは・・・と期待を抱かせました。たとえば、「はい」「はい」という相づちを、少なくするだけでも、かなり印象が違おうと思います。

本来ならば、あとに編集でカットしてもよいから、スタジオ内の様子とか、太田さんの服装とか、テレビとは違う太田さんの姿を描写してもらいたかったです。

太田さんのエッセイやら小説の話がメインになってしまったような構成でした。ラジオで本の話をするのは、リスナーの方がお読みになっていないこともあり、けっこう難しいことです。爆笑問題の太田さんは知っていても、小説家太田さんを知らない方には、ちょっと判らないこともあったのでは・・・と、かく言う私もそうでした。

「小説を映画化しては」のあたりは、宗教団体に真正面からぶつかるエイトさんとは違って、なんだかヨイショしているようにも聞こえましたが・・・本心はどうなんだろうかね。そんな中で、エイトさんが「世界中の宗教を収める機関が必要ではないか」というようなことを話されたのには、「なんと大胆なことを発言されるのか」とちょっとビックリしました。

番組後半に音楽一曲。リンプ・ビスケットの「フェイス」、なかなか渋いメタル・ロック。ゲストの太田さんが、「エイトさんは、以前、バンドやってたんでしょ」ということで合点が行きました。音楽の話をする、エイトさん、俄然、元気になった感じでした。

また、本のプレゼントが、ご著書とはいえ「山上徹也とは何者だったのか」というのにも、報道番組以外に彼の名を聞くことがなかったので、これまたビックリでした。

エイトさん、ゲストと音楽の話をした方が、「えっ、あのエイトさんが！」ということで、リスナーも新鮮に感じるだろうし、エイトさんも早く番組になじむのではないのでしょうか。

#### 審議委員E

どうして初回のゲストが太田光さんだったのか。2人の出会いはテレビ番組だと伺っているが、テレビでは聴けないこと、ラジオだから言えることを期待していた。その点では期待を上回らなかった。20分番組という尺の短さを感じさせなかったのは確かだが、深夜にわざわざ聴いてくれるリスナーに、ある種の衝撃を与えてほしかった。著書をもとに2人の会話が進んだが、未読のリスナーもいるだろうから今後も配慮をお願いしたい。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上